

令和6年美濃加茂市教育委員会 1月定例会 会議録

1 開会日時及び場所

令和6年1月29日（月）午後3時00分から午後5時10分まで
美濃加茂市生涯学習センター2階 203会議室

2 出席者

（教育委員）

教育長 古川 一男
委員 渡邊 博栄
委員 武田 由美
委員 安藤 摩里
委員 榊間 月絵

（事務局）

事務局長 田口 真吾
学校教育課長 竹腰 宣行
教育センター次長 佐伯 好洋
教育総務課課長補佐 鷺見 省吾

3 欠席者 委員 高野 光泰

4 開会 午後3時00分

5 議事日程等

（1）教育長あいさつ

（2）会議録署名委員の指名

（3）会議録の承認について

○ 12月定例会会議録

（4）議事

○議第1号 美濃加茂市中学校保護者クラブ活動支援補助金交付要綱の一部を改正する告示について

○議第2号 令和5年度美濃加茂市教育委員会表彰の決定について

（5）協議・報告事項

① 美濃加茂市いじめ防止対策審議会による調査結果（答申）について

② 教育委員会行事予定等

③ 教育センター事業報告

（6）その他

会 議 録

(1) 教育長あいさつ

古川教育長

※教育長から開会のあいさつ

・1月9日の火曜日に3学期のスタート一斉に切りました。去年どうだったかなってことを思いながら。そのスタートの子ども達の欠席の状況なんですけど、コロナとかインフルエンザを理由に始業式も欠席をしたっていうのが、実は市内24人いました。去年の数がコロナとかインフルエンザを理由としての欠席が235人っていう事で。この数字だけを見ますとずいぶん状況も変わって、令和6年がスタートを切れたなということをおもっています。全ての欠席者も去年と比べますと110人少ない数でスタートできたっていうのは何よりも嬉しいなことはおもっています。ただ1月に入りましてインフルエンザも流行していてコロナもまだまだ出ているような形で。今の段階で市内三つの小学校の5学級が学級閉鎖になったあるいは現在進行形のところもあるっていうような状況です。その内容もコロナっていうこととインフルエンザっていうのと大きく二つに分かれて混在しているような状況ですけれども。そんなようなところで今子ども達の健康状況も心配なところはあるなということをおもっていますが。傾向としては今のところ小学校の低学年、3年生以下が多いかなっていうことがありますけれども。これから2月に入っていく段階で、学年の締めに入っていく段階で、子ども達の健康にも十分気を付けていっている。学校の方もずいぶん気を使って進めているというような状況ですけれども。大きな子ども達の怪我とか病気もなく3学期がスタートできたっていうのはありがたいなということをおもっています。

・令和6年が始まってもう4週間が経ったんですけども。でもこの令和6年っていうのも激動のスタートだったなと。今年はどういう年にしていこうかなっていうことをお正月新年明けて色々改めて考えている時に、スマホが急に鳴りましたよね。びっくりして。「これから43秒後に大きな揺れが来ます」とかっていうのが来て、まさかっていう思いで見えていたら、本当にちょっと心の準備がある中で揺れが来たっていうのが大きな驚きでした。そのときは震度4、この辺も最初震度4。最終的には震度3っていうふうに変更されたんですけども、この辺では久しぶりに大きな揺れだったなということをおもいながら。1月1日も市の方も市内の状況、公共施設等の確認もということで、1月1日から市の職員、我々も教育委員会事務局もそうですけれども色々慌ただしく動き始めたっていうような状況でした。ちょうど年末年始のときでしたので、親の実家が能登の方の方もみえるだろうなという事で、子どもがこの大きな震災に巻き込まれた事はないかという事を一番心配していたんですけども。結果として、本当現地は大きな被害で、もう言葉も出てこないような状況だったんですけども。美濃加茂の子ども達につきましては、この震災が理由で学校に来られなかったとか、

大きな怪我を被ったっていう子は1人もいなくて、大事はなかったっていう事でスタート出来ました。ただ、実家が向こうにあるっていうふうで当日向こうに行ってたっていうのは何人かいまして、美濃加茂の中では2人の職員のところの実家が大きな被害を受けたっていうような報告を受けています。先ほども市の職員も動いているっていう事も言いましたけども、水が出ないっていう断水っていうような状況とかっていうことで水道課の上下水道課の方もすぐに水の支援とか土木関係の方でもすぐに支援に現地の方へ派遣しているっていうふうな状況です。学校の教職員も、これから現地の方も少し落ち着いてきて、学校の再開っていうところが始まってきていますので、そうした中で学校の教職員の応援っていうのも、今県の教育委員会を通して派遣するのかがどうかっていうこともあるっていうこと。そんなような状況だということをお伝えさせていただきます。

・それで大きなニュースだったのが、また2日になったら航空機事故があつてこんなこともあるんだなっていうことも思いながら大きな驚きが2日も続いたんですけども。ああいう火達磨の中でも、搭乗者、飛行機に搭乗している人が1人も命を落とさずに避難できたっていうことは奇跡的っていうような声もいっぱいあつたんですけど。本当にこれもすごいなと思う反面、ヒューマンエラーとか、ハリアップ症候群っていうような言葉も随分報道されていまして。こうしたことも色々考えていかないといけないなと思う反面、この事故に遭った海上保安機の方もこの震災に係る支援に行こうというような状況でなつたっていうのもなんとも言葉に表せれない事故だつたなことを思っています。これ、地震とこの事故とは質が全然違うんですけども、こうしたこともただ大きな事故とか災害があつたっていうことだけで済まらずに、こうしたことを学校運営にも活かすような視点を見いだしていく必要があるなということで。例えば災害に対する危機意識はどうか、訓練はどうかのなつていうところ。あるいは一つ一つの学習活動についても形骸化していることはないかというような視点で、自分事として見つめて学校経営に活かしていくようになっていこうというふうで学校の方にも話をしたところでもあります。大きな災害でスタートした令和6年ですけども、これから子ども達にとって力をつけていくような時間、学校生活を送っていくようになっていこうという事で学校にもうちょっと力を合わせながら進めていきたいなということを思っているところです。

・学校の頑張りということで一つ紹介をさせていただきます。県のふるさと教育っていう事業があります。それぞれの地域のものを生かして教育を進めていくっていうところ。それを県でもとても大事にして進めているんですけども。これの県レベルでの最優秀賞を伊深小学校が受賞したという事でお伝えをさせていただきます。その他優秀校ということで、市内から5校。山之上小学校、蜂屋小学校、加茂野小学校、三和小学校それから下米田小学校と。その5校が優秀賞を受賞したということで。これも日々の学校の取り組みがこういったところで

認められたっていうのは嬉しいことであり、教育委員の皆様方にもお伝えをさせていただきます。

それではただいまから美濃加茂市教育委員会令和6年1月の定例会を開会いたします。

(2) 会議録署名委員の指名

古川教育長

会議録署名委員の指名を行います。美濃加茂市教育委員会会議規則第14条第2項の規定により、令和6年1月定例会会議録の署名者は渡邊委員にお願いいたします。

渡邊委員

はい。

(3) 会議録の承認について

① 12月定例会会議録

古川教育長

次に、会議録の承認についてです。12月定例会会議録を事前にお送りしておりますが、訂正等はよろしいでしょうか。

特にないようすでご承認いただいたという事でお願いたします。

(4) 議事

議第1号 美濃加茂市中学校保護者クラブ活動支援補助金交付要綱の一部を改正する告示について

古川教育長

では初めに「議第1号 美濃加茂市中学校保護者クラブ活動支援補助金交付要綱の一部を改正する告示について」を議題とします。

事務局に説明を求めます。

竹腰学校教育課長

※資料を基に、美濃加茂市中学校保護者クラブ活動支援補助金交付要綱の一部を改正する告示について説明。

・保護者クラブへの支援補助金につきましては、部活動の地域移行の経過措置として令和5年度より希望する保護者クラブに対して順次手続きを行っているところです。

・今回の改正の要点としましては、まず一つ目に、美濃加茂市立と組合立。この保護者クラブに在籍する生徒に対して保険加入の補助ができるようにしたという事です。これまでは、美濃加茂市立の西中学校・東中学校と組合立の双葉中学校、それぞれ要綱を作成しまして。双葉中学校の生徒が例えば西・東中学校を代表する保護者クラブに登録・活動する際に保険が適用できなかったというような現状がございました。また逆もございま

た。そこで交付の対象団体を中学校保護者クラブ、これは美濃加茂市立の中学校西・東に当たるんですが、と双葉中保護者クラブとすることで西・東・双葉中、三校いずれの保護者クラブに登録活動した場合も補助制度が適用できるような形にしております。

・二つ目に、補助金の区分として、スポーツ保険等への加入補助。これは現在生徒のみでしたが、指導者の保険についても補助金を交付するということとしたことです。スポーツ保険加入保険料の補助金の枠にございますが、クラブ員10人に対して1,500円の保険料、これを指導者にも補助を行うというような形で改正をしております。またこれに伴いまして、様式等も若干変更しております。

古川教育長

何かご質問等ございませんか。

見直しの背景は、それぞれの学校だけの取り組みではなくて合同でやっていきたい、あるいは双葉中にはない部活だけれども、例えばサッカー、東中学校のチームの中に一緒に入っていきたいというような、そうした動きもある中での対応という事。そういう捉えてよろしいですかね。

竹腰学校教育課長

はい。現在も実はあるんですがそこに対応できていないという現状がありましたので改正をすることにしました。

渡邊委員

該当するのはどれぐらいいらっしゃるんですかね。

竹腰学校教育課長

まだ若干ですけど。先ほどサッカーの話もありましたけど、そういった体制を作っていきたいという要望がございましたので。

渡邊委員

はい。分かりました。

古川教育長

他に質問等ありましたらお願いします。

(委員：意見等なし)

それでは議第1号については議決されたものと認めます。次へいきます。

議第2号 令和5年度美濃加茂市教育委員会表彰の決定について

古川教育長

では次に「議第2号 令和5年度美濃加茂市教育委員会表彰の決定について」を議題とします。

事務局に説明を求めます。

石原係長

※資料を基に、令和5年度美濃加茂市教育委員会表彰の決定について説明。

・美濃加茂市教育委員会表彰要綱に基づき、美濃加茂市教育委員会表彰「あじさい賞」及び「あじさい特別賞」の被表彰候補者及び選考理由について説明。

古川教育長

何かご質問等ございませんか。

安藤委員

17番の岸さん。過年度であるため対象外とあったんですが、これは昨年度には推薦がなかったということですか。先生が学校側が推薦する。

石原係長

はい。昨年度は推薦がありませんでした。学校が各家庭に案内を出して、各家庭から学校の方に「こういう賞を取りました」という話があって学校が推薦してくるような順番です。

安藤委員

残念ですね。

古川教育長

規定の中に表彰の対象期間が、令和5年度の4月1日から3月31日までっていうそのところで。

安藤委員

家庭から推薦っていうのがあるのでそういう決まりなのですね。

古川教育長

可哀そうやなどは。そんなところは事務局も十分に検討はしてもらってますかね。

石原係長

はい。

古川教育長

中身のある表彰対象なんですけど。どんなところでもちょっと引っかけたところとか、ご指摘いただければと思うんですけど。

これ一ついいですか。小学生の18番の山手小学校の子のところですけども。確認ですけど。これもある意味この大会の全国コンクールの最上位賞に入っているという事だけですけども。独自大会であって後援がないっていうところが対象外にした大きな理由ですか。

石原係長

後援がないというところです。

古川教育長

そこが決め手だと。それぞれにいろんな団体があるので、もう団体だけでの判断はできんと。そういう判断でよろしいでしょうか。

竹腰学校教育課長

もう一つ出品数が非常に曖昧で分からないっていうところで。これも問い合わせたんですが、出品数を回答していただけないっていう状況だったので今回は見送ったというような事も条件の1つです。

古川教育長

はい、分かりました。その他何かお気付きの点ございませんか。

よろしいでしょうか。ありがとうございます。

なかなか難しい子ども達の頑張りっていうのをね、いろんなところで認めてあげたいなという思いもあるんですが、表彰要綱等内規というところをしっかりと見て、しっかりと判断していくということで事務局の方もずいぶん神経を使ったことと思いますけれども、ありがとうございます。このようにして、あじさい賞の表彰を進めて参りたいと思います。特にご異議等はないということですので、議決されたものとして進めてまいります。よろしく願いいたします。ちなみにこれは表彰式っていうのはどのようにやられますか。

石原係長

はい。2月21日にですね、文化の森の方で、そちらの方表彰式の方行いたいと思っています。

古川教育長

これ教育委員の皆様方にもご案内をさせていただくという事で。

石原係長

また案内の方もさせていただこうと思っております。

古川教育長

そうですね。当日教員の教育実践研究論文表彰と併せて実施いたしますので、是非子ども達や教職員の姿を見ていただければなと思っております。ではありがとうございました。

次へいきます。

(5) 協議・報告事項

① 美濃加茂市いじめ防止対策審議会による調査結果（答申）について

古川教育長

では「美濃加茂市いじめ防止対策審議会による調査結果（答申）について」をお願いします。

※説明、質疑等の内容については非公開。

古川教育長

では次へ行きます。

② 教育委員会行事予定等

古川教育長

では「教育委員会行事予定等」をお願いします。

竹腰学校教育課長

※資料を基に、教育委員会行事予定等について説明。

・2月14日ですが、教育センター運営委員会。報告が中心になると思いますがそちらの方を開催いたします。

・15日の午後に特色ある学校作り補助金に関わる最終報告会を計画しております。

- ・16日には中学校組合の教育委員会。26日には組合の議会が開催されます。
- ・19日は教育委員会と総合教育会議が開催されます。
- ・21日は教育実践論文の表彰式、そしてあじさい賞の表彰式を行います。
- ・卒業式ですが、小学校が3月25日(月)。中学校は3月8日(金)に実施をさせていただく予定でございます。教育委員さんには来賓として告辞をさせていただく予定となっております。令和5年度卒業式と令和6年度の入学式につきまして、分担を決めていますので、調整が必要でしたらご連絡ください。

古川教育長

今後の予定等について話をさせていただきましたけど、何かご質問等ございませんか。

これは教育委員の皆様方にもお時間をいただく機会がたくさんありますけれども、ぜひよろしくお願ひいたします。

卒業式入学式につきましてもよろしいでしょうか。

安藤委員

入学式はいつですか。

古川教育長

入学式は4月8日の月曜日ですね。これは小中一斉になります。小学校が午前中、中学校が午後です。よろしかったでしょうか。お忙しい思いさせますがぜひともよろしくお願ひをいたします。

では次へ行きます。

③ 教育センター事業報告について

古川教育長

では次に「教育センター事業報告」をお願いします。

佐伯センター次長

※資料を基に、教育センター事業報告について説明。

<研修・研究事業>

・1月9日にQU研修を下米田小で実施しております。QU研修については1月9日の下米田小でもって今年度の計画は全て終了しました。また25日に情報教育推進委員会の方を開催しております。

・教育実践論文については、最終審査会を1月18日に行いまして、その最優秀賞4名、優秀賞5名を選出しております。最優秀の4名につきましては、可茂地区へ優秀賞優良候補として3名、それから新人賞候補として大塚教諭1名を可茂地区へ推薦して、現在地区の方で選考がされておる状態です。表彰式につきましては2月21日水曜日文化の森の研修室で3時から開催いたします。

・研究の性教育推進委員会と社会科副読本の編集委員会につきましては、会合は行いませんが今年度の実践のまとめを今後進めていくこととなります。

・来年度の行事調整につきましては、2月1日に一次配信。2月16日に二次配信という流れで現在進めておるところです。

<不登校対策関連事業>

・昨年度の全国の不登校に関する調査では、29万人を超えるというような実態も既に報道等で報告されております。美濃加茂市におきましても、小中学校としてどちらも可茂地区や県全国の平均は下回っていますが、依然として高止まりの状況でございます。そういった背景にはコロナ感染症によって、臨時休校であったり、体調不良等を全て出席停止の取り扱いで自宅待機を求めたような流れもございまして、社会の環境や心理面の変化、また臨時休校期間中等での生活リズムの乱れ、それから昨今のいろいろな時代の変化の中での体制の未熟さとか、精神的な不安定さなどが、こちらの背景に色々を見られると思います。

・令和5年度の長欠報告の数については、これまでよりも多くなっておりますけれども、病気怪我の部分が前年度と比べまして大きく増えていくのがわかります。ですので、今年度もまだ5類には移行になりましたが、そういったコロナ不安での欠席、それからインフルエンザも今年度は大流行しまして、インフルエンザ自体は出席停止になるんですが、風邪症状等で大事をとって休むといったことがあった事がこの背景にはあるかと思えます。

・不登校の主な原因につきましては、全国的にもやはり無気力不安というもの、一番大きくなっております。これが多くなる原因は、本当に子ども達がなかなか学校に向かうエネルギーが出てこないといったこともございますけれども、子ども自身もなかなかその原因が特定できないという、はっきりしないということがここに分布される結果にもなっているところでございます。

・新規不登校の変化につきましては、やはり学期の初めや学年の初めには子ども達も心機一転頑張ろうというふうな思いを持ってスタートするわけですが、一定期間を過ぎるとなかなかそういったエネルギーが切れてきてまして。1学期で言えば5月から6月あたりに大きく数が増加している傾向がみられます。それは夏休み明けの状況でも同じでございます。

・そういった状況の中で、学校の方でもできるだけ丁寧に個に応じた対応をすることで一時的に改善が見られる場合もございますが、不登校自体は長期化の傾向が顕著になっております。そういう意味からも、できるだけ早期発見対応や未然防止が重要な鍵になってきますので、教育相談週間での子ども達の内面の理解やココタンや実態アンケート等の活用を進めて、できるだけ子どもの状況を的確に把握しながら、早期対応していくことが肝要だというふうに捉えています。

・不登校児童生徒の学年別人数については、数の大小はございますけれども小1から中3まで全ての学年で不登校は出現するような状況になっております。まだ男女比について見ますと、小学校では比較的男子が多いのに比べて、中学校では女子が多いという傾向が見られます。特に中学校では、思春期の不安や対人関係の悩み等がきっかけとなってこういった状態に入り込んでしまうことが多く見られております。またここ最近ではスマー

トフォン等の電子機器の所持が小学校にもだいぶ下がってきておりまして、SNSでの繋がりの中でのトラブルも頻発しておりますし、やはり顔・表情が見えない中でのそういうコミュニケーションツール、言葉だけの部分で捉えてしまうことでの相手の思いを捉え違えてしまったり必要以上に重く受け止めてしまったりとそういった傾向が見られると捉えております。

・小学校で30日以上欠席している児童については、3割ほどが中学年、6割強が高学年ということで、やはり学年が上がるほど多くなっております。90日以上になりますと半数以上が高学年ということで、小学校でも高学年の長期の欠席児童が多くなっております。またそういった不登校の長期化は、義務教育終了後の引きこもり、それからまた進路決定の上での学力の確保といった問題にも繋がってきておりますので、何とか少しでもそれを解消していくことが重要なポイントになりますし、学校又は教室という場所以外の、そういった子ども達の居場所作りも大きな課題になってきていると思います。

・あじさい教室だよりの12月号と1月号についてです。12月は2学期のまとめの会で、子ども達特にここでは中学生の子が多いですが、1年を振り返った一文字にまとめた思いについての記事等が載っております。また1月号では、3学期スタートしまして、特に中3の子ども達が自分の進路決定に向けて、色々内面で思いを持ちながらも自分なりに精一杯取り組んでいる様子について書いてございます

<発達相談特別支援関連事業>

・1月のあじさい発達相談については小中合わせて10件。対象児童生徒としては7名でございます。同じ児童で2件電話相談等がかかってきたりというようなことになっております。また1月のあじさい発達相談の内容については、子どもの状況について色々不安や心配を持たれた保護者の相談が多いんですが、どういうところの病院にかかるかとかかいうような相談が主になってきております。やはり具体的に把握したいということで、検査等を通じて子どもの状態を知りたいということで、相談については対応しておる状態です。またフリースクール等についてのお尋ねの相談も2件ございました。

古川教育長

教育センターより事業の報告をしてもらいました。

不登校のことにつきましても、教育委員会の方としましても大事な柱の一つとして手を打っていかないといけない状況だということはあるけれども。こういう現状を受けて、教育委員会としてどういうことをしていかなければならないかということも、教育委員の皆様方からもご助言をいただければなという事を思っております。

他に何か質問等ございませんか。

(委員：意見等なし)

では次へいきます。

(6) その他

古川教育長

その他はありますか。

田口事務局長

※ 3月臨時会の日程調整について説明
(委員日程調整)

3月臨時会は、3月4日(月) 13時30分から、会場は後日お知らせします。

古川教育長

次回の定例教育委員会ですけれども、2月19日(月)の9時から開催といたします。また、定例会の終了後も引き続き令和5年度の第3回の総合教育会議を予定しておりますので、よろしくお願いたします。

その他よろしいですか。

それでは以上で令和6年1月定例会を閉会いたします。皆さんありがとうございました。

閉会 午後5時10分
